

## II 卵稚仔調査

### 1 卵稚仔モニタリング調査

#### 1) 資源評価調査

根本昌宏・八巻憲治・小野安芳

#### 目 的

イワシ・サバ類等の卵稚仔分布量を調査し、資源量、発生量、加入量を推定する。

#### 方 法

調査は、毎月一回実施した。

調査定点は図 1 に示す 18 点で、定点 S1、S2、S3、S4、S5、S7、T1、T2、T3、T4、T5、T7 は毎月実施し、定点 S10、S1、S14、U10、U12、U14 は 5、7、11 月に実施した。

調査方法は LNP ネット(口径 45cm、目合い 30  $\mu$ m)による鉛直曳きにより卵稚仔および動物プランクトンを採取し、採取後直ちに 5～10%ホルマリンを用いて検体を固定した。

検体の査定は日本エヌ・ユー・エス株式会社へ委託した。

なお、本調査は独立行政法人水産総合研究センターの資源評価調査の一環として実施されたものである。

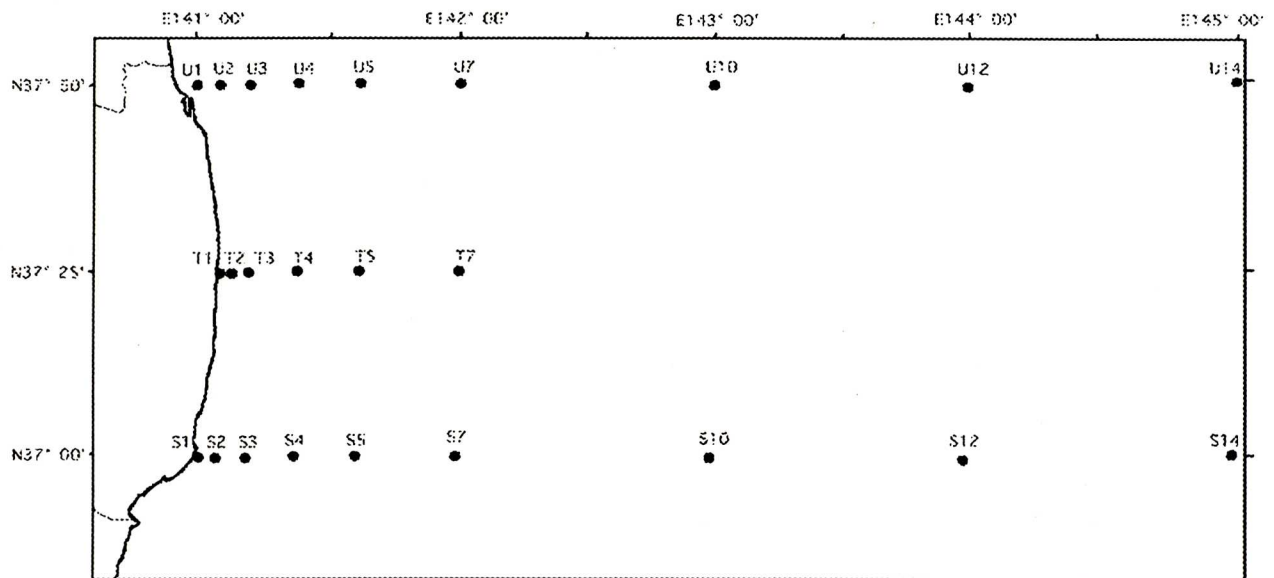


図 1 資源評価調査定点

#### 結 果

卵稚仔の査定結果は表 1-1、1-2 に示すとおりであった。